

中小企業景況調査

令和3年10月

穴水町商工会

中小企業景況調査

はじめに

穴水町商工会では穴水町全体の商工業者の実態及び経営の悩み等を把握するため景況調査を実施しております。当商工会の経営指導員が事業所を訪問し、令和3年4月～6月の業況を調査しました。合わせて、全国商工会連合会及び石川県商工会連合会の景況調査についても記載致します。全国平均と石川県全体における事業者の景況感の違いを把握する趣旨の元、調査致しました。なお、内容は下記の通りです。

1. 当商工会の経営指導員が事業者からヒアリングした内容

① 製造業関連

コロナウイルス感染拡大による顧客の減少は、依然として変わらない現状である。加えて、外食産業・観光産業の状況悪化による影響も大きいとの声があった。その一方で最悪期はすでに脱しており、業況も徐々に回復傾向にあるとの声も聞かれた。

② 建設業関連

巣ごもり需要により一般個人からのリフォーム工事が徐々に増えてきている。その一方でコロナウイルスの影響を受け、4月～6月は官公庁からの受注が減少しているとの声も聞かれた。

③ 小売業関連

人口減少及び高齢化によって、購買意欲のある20代～60代が減り、年々売上は減少傾向である。アマゾン等のネットショッピングの普及による影響等もあり、外部環境は益々厳しくなっている。

コロナウイルス感染拡大の影響により、仕事量が減少し、厳しい状況が一年半続いており、大変疲弊している。せめて、飲食店に対する協力金と同等の救済・補償支援を強く望むとの声もあった。

④ サービス業関連

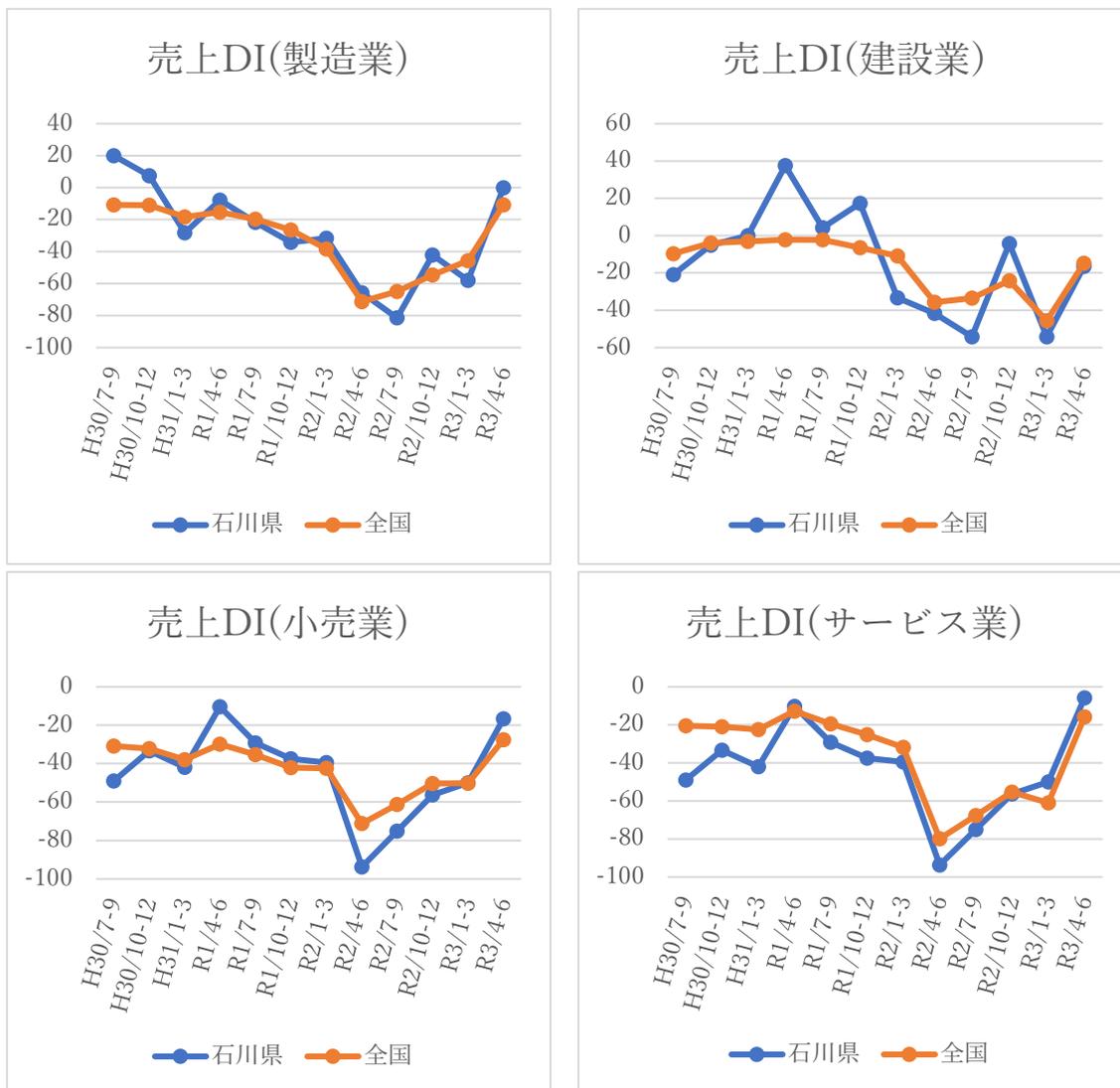
コロナウイルスの影響で団体客の予約がなく、売上に繋がらないが、穴水町独自の飲食券が発行されてからは徐々に客足は戻ってきている。これまでは家族だけでの利用だったが、仲間内(2～4人)での利用も増えているとの声も聞かれた。事業主・従業員共にコロナウイルスに感染せず営業できているので、幸せであるとの前向きな声もあった。

その他にもコロナの影響から顧客の来店回数が減っており、滞在時間を短くするため、カット(理容業)のみの方が増えてきているとの声も聞かれた。

2. DIとは

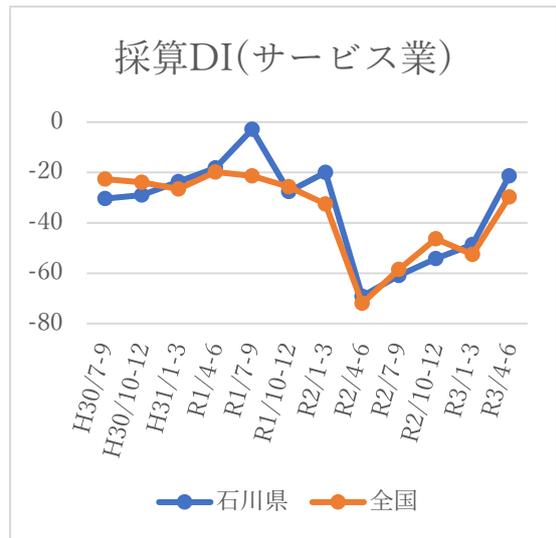
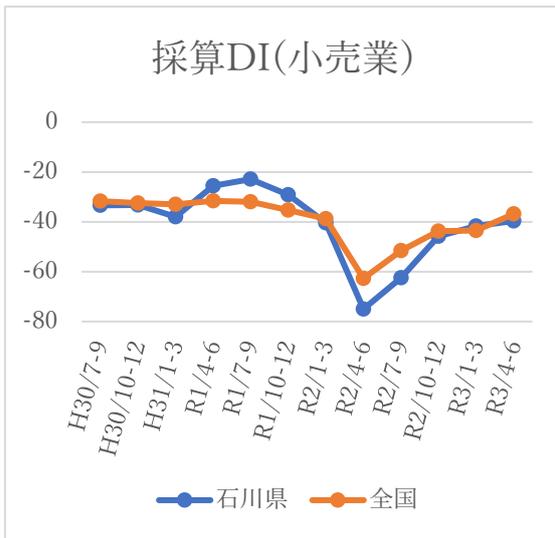
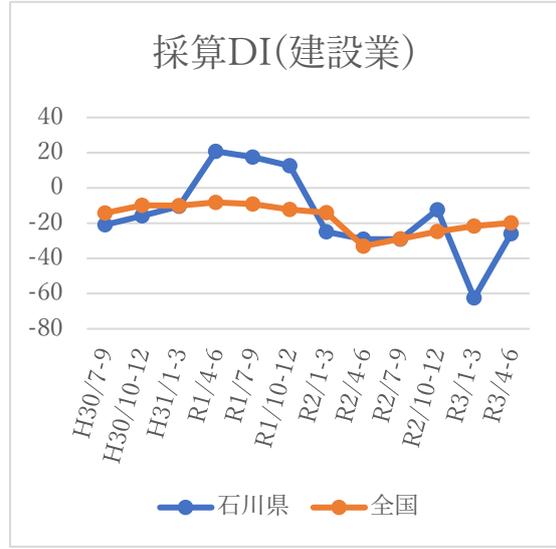
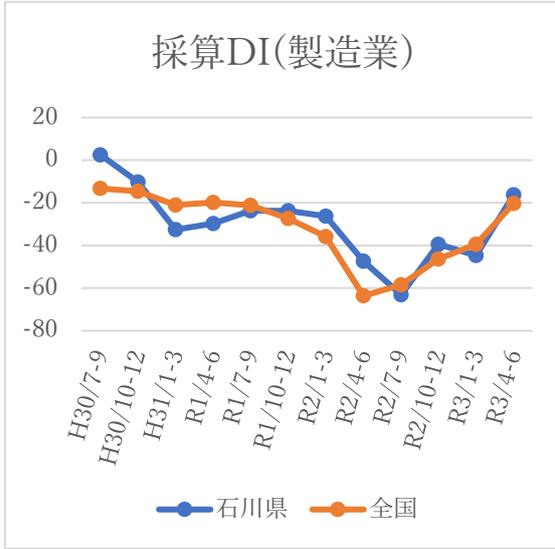
ディフュージョン・インデックス(景気)動向指数の略で、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から、減少(悪化・低下)企業割合を差引いた値を示す指標です。

3. 売上DI



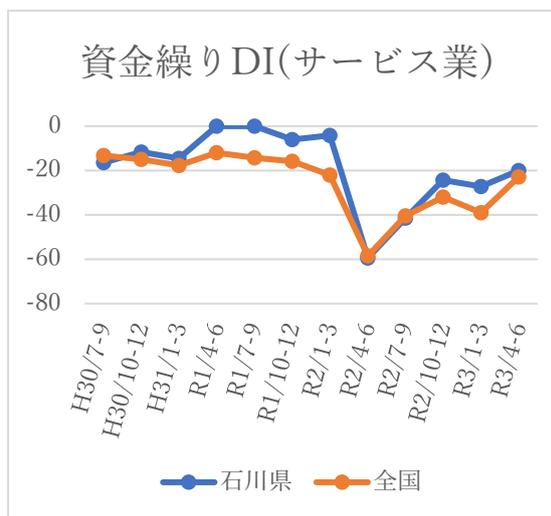
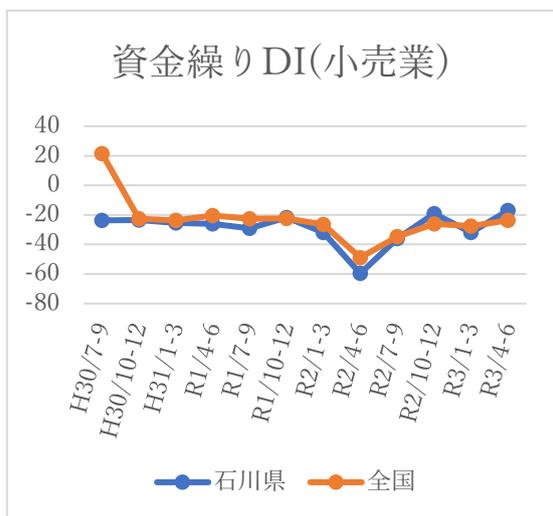
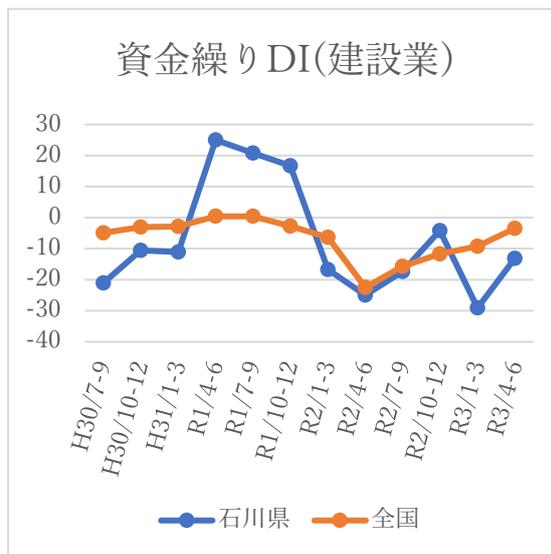
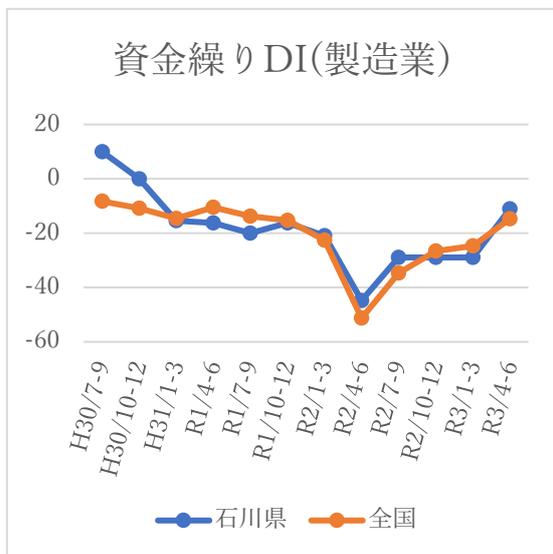
石川県の売上DIは全業種で全国平均と比較すると、振れ幅が大きく、業況変動が大きいことが伺える。全業種においてR3/1-3からR3/4-6にかけて、業績の回復傾向が伺える。

4. 採算(経常利益)DI



建設業において石川県は全国平均と比較すると、振れ幅が大きく、業績変動が顕著に表れている。R3/1-3 から R3/4-6 にかけて、製造業・建設業・サービス業においては収益性の大幅な改善が図られているが、小売業は小幅な改善に留まっている。

5. 資金繰りDI



建設業において、石川県は全国平均と比較すると、振れ幅が大きく、資金繰りの良し悪しがはっきりと表れている。サービス業においては全国平均と比較すると、総じて高いことからコロナ禍のダメージを最小限に留めるよう、金融機関からの資金調達等で資金繰りを回していることが想定される。